



平成29年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年12月9日

上場会社名 ミライアル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4238 URL http://www.miraial.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山脇 秀夫
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 兵部 匡俊 TEL 03 (3986) 3782
 四半期報告書提出予定日 平成28年12月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万未満切捨て)

1. 平成29年1月期第3四半期の連結業績（平成28年2月1日～平成28年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年1月期第3四半期	4,788	△24.4	179	△59.4	377	△46.7	△97	—
28年1月期第3四半期	6,334	△11.4	441	△47.6	708	△30.5	448	△36.3

(注) 包括利益 29年1月期第3四半期 △6百万円 (—%) 28年1月期第3四半期 412百万円 (△45.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年1月期第3四半期	△10.89	—
28年1月期第3四半期	49.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年1月期第3四半期	19,715	15,302	77.6	1,702.50
28年1月期	17,956	15,488	86.3	1,723.21

(参考) 自己資本 29年1月期第3四半期 15,302百万円 28年1月期 15,488百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年1月期	—	10.00	—	10.00	20.00
29年1月期	—	10.00	—		
29年1月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年1月期の連結業績予想（平成28年2月1日～平成29年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,750	△16.9	370	△21.3	590	△24.4	50	△80.6	5.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年1月期3Q	10,120,000株	28年1月期	10,120,000株
② 期末自己株式数	29年1月期3Q	1,131,804株	28年1月期	1,131,804株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年1月期3Q	8,988,196株	28年1月期3Q	8,988,206株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおりません。実際の業績等は、業況の変化により、予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、上半期は熊本震災の影響を受け低水準の出荷となりましたが、第3四半期には生産、出荷ともに回復して参りました。

しかしながら、当社主力製品であります300mmシリコンウエハ出荷容器FOSBのリユースの進展による販売面への影響は依然として大きく、厳しい経営環境にあります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,788百万円(前年同期比24.4%減)、営業利益は179百万円(前年同期比59.4%減)、経常利益は377百万円(前年同期比46.7%減)となりました。また、熊本地震に係る特別損失として432百万円を計上したため、親会社株主に帰属する四半期純損失は97百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益448百万円)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(プラスチック成形事業)

当第3四半期連結累計期間の売上高は4,118百万円(前年同期比25.8%減)、営業利益は412百万円(前年同期比39.9%減)となりました。

(成形機事業)

当第3四半期連結累計期間の売上高は658百万円(前年同期比21.8%減)、営業利益は55百万円(前年同期比47.1%減)となりました。

(不動産賃貸等事業)

当社は平成28年4月27日に主に賃貸に供する不動産を取得し、同事業を開始いたしました。当第3四半期連結累計期間の売上高は77百万円、営業利益は51百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて717百万円減少し、11,607百万円となりました。これは主に、商品及び製品の増加140百万円、仕掛品の増加142百万円があったものの、現金及び預金の減少1,062百万円があったこと等によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて2,476百万円増加し、8,108百万円となりました。これは主に、有形固定資産の増加2,756百万円によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて541百万円増加し、2,059百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加164百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加99百万円、災害損失引当金の増加83百万円があったこと等によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて1,403百万円増加し、2,354百万円となりました。これは主に、長期借入金の増加1,344百万円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて186百万円減少し、15,302百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加78百万円があったものの、配当金の支払179百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失97百万円の計上があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年1月期の業績予想につきましては、平成28年9月9日公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
（会計方針の変更）

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第2四半期連結会計期間から適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,237,617	8,175,242
受取手形及び売掛金	2,199,277	1,866,410
商品及び製品	285,938	426,607
仕掛品	349,792	492,189
原材料及び貯蔵品	103,573	192,679
繰延税金資産	102,224	152,947
その他	46,665	301,527
流動資産合計	12,325,090	11,607,604
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,920,370	6,162,504
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,200,298	△3,305,391
建物及び構築物（純額）	1,720,071	2,857,112
機械装置及び運搬具	6,675,533	6,483,514
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,235,675	△6,068,513
機械装置及び運搬具（純額）	439,857	415,000
土地	1,321,304	3,249,892
建設仮勘定	300,560	—
その他	4,471,034	4,525,021
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,263,523	△4,301,554
その他（純額）	207,510	223,467
有形固定資産合計	3,989,304	6,745,473
無形固定資産		
その他	21,513	18,412
無形固定資産合計	21,513	18,412
投資その他の資産		
投資有価証券	679,796	567,386
保険積立金	639,824	502,402
繰延税金資産	248,378	219,162
その他	52,728	55,352
投資その他の資産合計	1,620,727	1,344,303
固定資産合計	5,631,546	8,108,189
資産合計	17,956,637	19,715,794

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	911,001	1,075,869
1年内返済予定の長期借入金	7,500	107,496
未払法人税等	4,881	11,161
賞与引当金	146,939	219,616
受注損失引当金	4,520	57,355
製品保証引当金	12,598	4,262
災害損失引当金	—	83,554
その他	429,849	499,908
流動負債合計	1,517,289	2,059,224
固定負債		
長期借入金	11,250	1,355,631
退職給付に係る負債	634,184	647,017
役員退職慰労未払金	131,780	131,780
繰延税金負債	83,300	80,306
その他	90,232	139,404
固定負債合計	950,748	2,354,139
負債合計	2,468,037	4,413,363
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,111,000	1,111,000
資本剰余金	1,310,000	1,310,000
利益剰余金	14,959,353	14,681,707
自己株式	△1,759,298	△1,759,298
株主資本合計	15,621,054	15,343,408
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△90,850	△12,397
退職給付に係る調整累計額	△41,605	△28,581
その他の包括利益累計額合計	△132,455	△40,978
純資産合計	15,488,599	15,302,430
負債純資産合計	17,956,637	19,715,794

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年10月31日)
売上高	6,334,307	4,788,319
売上原価	4,780,955	3,707,534
売上総利益	1,553,351	1,080,785
販売費及び一般管理費	1,111,400	901,545
営業利益	441,950	179,240
営業外収益		
受取利息	7,006	2,064
受取配当金	13,009	10,364
助成金収入	5,813	7,898
保険返戻金	170,239	150,814
受取賃貸料	5,825	5,634
売電収入	38,392	35,517
償却債権取立益	30,000	—
その他	17,436	5,446
営業外収益合計	287,722	217,740
営業外費用		
支払利息	167	1,189
減価償却費	19,723	16,427
その他	1,308	1,790
営業外費用合計	21,198	19,407
経常利益	708,474	377,573
特別利益		
投資有価証券売却益	—	2,727
特別利益合計	—	2,727
特別損失		
雇用多様化費用	48,095	—
災害による損失	—	432,121
投資有価証券評価損	—	55,627
その他	12,151	46
特別損失合計	60,247	487,795
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	648,227	△107,494
法人税、住民税及び事業税	186,989	20,216
法人税等調整額	12,745	△29,828
法人税等合計	199,735	△9,612
四半期純利益又は四半期純損失(△)	448,492	△97,881
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	448,492	△97,881

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年2月1日 至 平成27年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年2月1日 至 平成28年10月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	448,492	△97,881
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△74,725	78,452
退職給付に係る調整額	38,256	13,024
その他の包括利益合計	△36,469	91,476
四半期包括利益	412,023	△6,405
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	412,023	△6,405
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年2月1日 至平成27年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	プラスチック成形事業	成形機事業	
売上高			
外部顧客への売上高	5,496,107	838,199	6,334,307
セグメント間の内部売上高 又は振替高	51,690	3,675	55,366
計	5,547,797	841,875	6,389,673
セグメント利益	687,013	104,538	791,552

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	791,552
セグメント間取引消去	14,244
全社費用(注)	△363,846
四半期連結損益計算書の営業利益	441,950

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年2月1日 至平成28年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	プラスチック成形事業	成形機事業	不動産賃貸等事業	
売上高				
外部顧客への売上高	4,064,938	645,488	77,893	4,788,319
セグメント間の内部売上高 又は振替高	53,474	12,837	—	66,311
計	4,118,412	658,325	77,893	4,854,631
セグメント利益	412,950	55,279	51,226	519,456

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	519,456
セグメント間取引消去	9,011
全社費用(注)	△349,228
四半期連結損益計算書の営業利益	179,240

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、不動産賃貸等の事業開始に伴い、報告セグメント「不動産賃貸等事業」を新たに追加しております。